

ニッカン・コム杯



9/3(水)4(木)5(金)

ナイター
開催

川崎スポーツ

レース展望

9月3日からの川崎ナイター開催はS級シリーズ【FI】・ニッカン・コム杯。S級・A級ともに東北・関東・南関東・中四国・九州の五地区から好選手が参加して熱戦が期待され、ガールズケイリンも行われる。

今開催の地元メインは佐々木真也(117期)。タテヨコ何でもこなすオールラウンダーで、基本は好位キープからの捲りになるが、展開次第では強気な番手さばきも十分あり、徹底先行野口裕史(千葉111期)が勝ち上がってくれば、マークとしての仕事に徹するはず。続くのは岡村潤(静岡86期)となりそうで、まずは南関東の好連係に期待したい。関東勢では茨栃ラインが強力で、自在脚冴え

る吉澤純平(茨城101期)と雨谷一樹(栃木96期)を中心に、マーク屋となった横山尚則(茨城100期)や今期は2班ながらガッツマーカの芦澤大輔(茨城90期)と上位独占を目論む。更に点数持つ恩田淳平(群馬100期)が追加参戦となり、実績は十分な木暮安由(群馬92期)も揃って、関東の層の厚さはかなりのもの。中四国は強力先行町田太我(広島117期)がブンブンレースを引っ張り、それを久米良(徳島96期)が追ってゴール前は逃げ差し争いに持込む。九州勢は機動型の阿部将大(大分117期)がいつも通りの積極策で、ベテラン小岩大介(大分90期)と松岡貴久(熊本90期)が続く形になるだろう。

A級戦は前期S級からの降級組がV争いの主力になり、機動型加藤将武(埼玉121期)と長らくS級で活躍した志村龍己(山梨98期)の関東コンビが勝負所からの好スパートでワンツーツを目指せば、佐藤雅彦(宮城87期)や前反祐一郎(広島81期)も好目標を掴めばもちろんV圏内。今期は2班も連対率が急上昇の植原琢也(埼玉113期)が好調キープで面白い。

ガールズは宇都宮オールスターGIに出場したホームバンク大浦彩瑛(126期)が地元初Vを狙って気合の入った走りを見せるはずで、点数上位元砂七夕美(奈良108期)や當銘直美(愛知114期)とゴール前争いを演じるだろう。

実力接近でびくびくしながらでも狙えV激戦

S級
主力選手



佐々木真也 神奈川 117期

夏場はグレードレースを転戦していたが、玉野GIでの落車もあり、流れの悪い近況が続いている。このホームバンク戦で立て直したいところだろう。今は追い込みの決まり手が中心だが、まだまだ自在に戦う意欲はあるはず。地元のエースとしてフル回転するはず。

S級
主力選手



雨谷一樹 栃木 96期

ナショナルチームで長年活動していた実績があり、抜群の瞬発力を武器に好走している。しっかり目標に付け切れることはもちろん、目標不在の時の捲りは健在。現代競輪では重要なスタートの速さは輪界屈指で、ラインへの貢献度はかなり高い選手と言えるだろう。

S級
主力選手



町田太我 広島 117期

大敗も多いが、持ち味発揮した時の勝ちっぷりは豪快。上位陣相手では主導権を取り切れないケースもあるが、多少強引にでも出切れれば強地脚を発揮する。FIでは優勝候補の一角とみていいだろう。今シリーズも西日本の頼れる存在として、タフな先行を披露する。

A級
注目選手

加藤将武 埼玉 121期



前期までS級戦で揉まれてきたが今期からはA級降級。バック本数は減ったが、持ち味は長い距離を踏める地脚とスピード。ある程度は位置取りを意識したり、柔軟な走りができる器用さも持ち合わせる。成績は近況もう一息だが、A級上位の総合力がある選手だ。

ガールズ
注目選手

大浦彩瑛 神奈川 126期



近況本格化した地元期待のガールズレーサーであり、今年は3月岐阜卓で初優勝を果たし、ここまで3Vに準Vは9回(8月25日現在)。宇都宮オールスターでは上位の壁に弾かれ勝ち上がりはならなかったが、敗者戦でGI初勝利を挙げた。今シリーズは良い結果を残すだろう。

川崎競輪場バンクガイド (2024年1月~12月データ)

昨年1年間28開催・936レース(ガールズケイリンを含む)の川崎バンクの決まり手は右表の通り。昨年までのデータと逃げ・捲り・追込・マークのパーセンテージには大して変わりはないが、1着に限って言えば逃げ・捲りの決まり手は変わらず50%を超えているので、自力型のアタマから組み立てていく車券戦略が可能だろう。川崎名物イエローライン付近のゴール前強襲は、選手たちも新バンクに慣れて徐々に出現率が高くなってきている感であり、力のある追込型はたとえ後方に置かれたとしても、最終4コーナーから一気に巻き返す可能性もあり軽視出来ない印象だ。

1着決まり手



2着決まり手

